

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、午後にFOMC議事録を控えてドルが対レアルで一時3.04台半ばまで上昇したものの、早期利上げに関する具体的な示唆を得られなかつたことから、引けにかけては反落し、3.00台前半で取引を終えた。議事録によると、参加者の多くは「6月に得られるデータがFF金利の目標レンジ引き上げの条件を満たす十分な裏付けを与える可能性は低い」と考えており、次回6月会合での利上げの公算は小さいとみていたことが示された。一方で、数人のメンバーは「6月利上げに向けて経済情勢の準備は整う」との認識を示した他、第1四半期(1~3月期)の景気減速が長期間継続される可能性は低く、今後「緩やかなペース」で経済は拡大する(この点は、4月声明文と同様)と予想されていたことが明らかとなつた。なお、最近の米景気減速の要因の1つとして「ドル高」を挙げたメンバーがいた模様で、ドル高が収束すれば投資や輸出への影響は薄れる可能性があるとも記された。本議事録は、「6月利上げの可能性が極めて低い」というマーケットの見方を確認する内容になったと言えるが、FRBが現在の指標悪化は一過性のものであると信じている点には引き続き注目すべきであろう。

中銀が公表している週次サーベイによると、年末のインフレ率見通し(IPCA)は8%を超過するとの予想が大勢を占めているが、Tombini総裁は従前から「2016年終盤にかけてインフレ率を目標に収束させることは可能」との見方を崩していない。市場参加者の多くは依然として本見通しに懐疑的であるが、政府内においても「全政策の足並みを揃えることで、物価押し下げは可能」とのスタンスが形成されている模様。

マーケットデータ

Indicator	Unit	5月19日	5月20日	前日比	4月20日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,74	40,41	+0,67	39,32	+1,09
USD / BRL Spot	BRL	3,0381	3,0026	-0,0355	3,0325	-0,0299
USD / JPY Spot	JPY	120,69	121,35	+0,66	119,18	+2,17
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	55.499	54.901	-598	53.761	+1.140
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	227,2	225,0	-2,2	236,5	-11,5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,54	12,42	-0,12	12,58	-0,16
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,83	13,67	-0,16	13,51	+0,16
3 Months US Dollar Libor	%	0,281	0,281	+0,000	0,276	+0,005
CRB Index (国際商品指数)	Index	226,2	226,4	+0,2	222,7	+3,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



リアル円スポットチャート

